

## 問2 プロジェクト目標の達成のためのステークホルダとのコミュニケーションについて

システム開発プロジェクトでは、プロジェクト目標（以下、目標という）を達成するために、目標の達成に大きな影響を与えるステークホルダ（以下、主要ステークホルダという）と積極的にコミュニケーションを行うことが求められる。

プロジェクトの計画段階においては、主要ステークホルダへのヒアリングなどを通じて、その要求事項に基づきスコープを定義して合意する。その際、スコープとしては明確に定義されなかったプロジェクトへの期待があることを想定して、プロジェクトへの過大な期待や主要ステークホルダ間の相反する期待の有無を確認する。過大な期待や相反する期待に対しては、適切にマネジメントしないと目標の達成が妨げられるおそれがある。そこで、主要ステークホルダと積極的にコミュニケーションを行い、過大な期待や相反する期待によって目標の達成が妨げられないように努める。

プロジェクトの実行段階においては、コミュニケーションの不足などによって、主要ステークホルダに認識の齟齬<sup>そこ</sup>や誤解（以下、認識の不一致という）が生じることがある。これによって目標の達成が妨げられるおそれがある場合、主要ステークホルダと積極的にコミュニケーションを行って認識の不一致の解消に努める。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～設問ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わったシステム開発プロジェクトの概要、目標、及び主要ステークホルダが目標の達成に与える影響について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたプロジェクトに関し、“計画段階”において確認した主要ステークホルダの過大な期待や相反する期待の内容、過大な期待や相反する期待によって目標の達成が妨げられるおそれがあると判断した理由、及び“計画段階”において目標の達成が妨げられないように積極的に行ったコミュニケーションについて、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問アで述べたプロジェクトに関し、“実行段階”において生じた認識の不一致とその原因、及び“実行段階”において認識の不一致を解消するために積極的に行ったコミュニケーションについて、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。